

中部日本ニュース

シネスコ版

道新 16 138
高知新 16 223
新愛媛 16 11
山口新 16 64

口説合の利権争、一馬和野山、113頁(本編ト77ページ追加)
本編同レ

No. 388 36.6.23

元島、臣人の惜敗、一振球場、111頁(本編ト77ページ追加)

六・一九

一、あれから一年

安保の嵐が渦巻く去年の六月、目を覆う惨状の中で樺美智子さんがなくなり、これを契機に政局は大きな転換をとげていきました。それから一年、政防法の嵐もようやく静まった国会へ亡き友を慕う学友と共にお母さんの光子さんも足を運びました。たとえその死が政治の尊い犠牲であったとしても子を失った母の悲しみは消えることがないでしょう。

世界に名をはせた全学連は内部紛争で四分五裂。旗頭の社会党も、安保斗争で高まったエネルギーを組織化できず防衛二法や政防法の阻止斗争ではその弱体ぶりが目立ちました。

池田さんは「訪米反対などは頭がどうかしている」と高姿勢ですが、自民党の内話をのぞけば、派閥抗争でガタガタ。うっかり留守にもできぬありさまで、党内ではどこへいっても低姿勢です。

六月十九日全学連も押しかけぬとあって平穩のうちにワシントン詣でへ出発しました。安保を結んだ岸、アイト共に、政権を去り、ケネディ、池田会談には、時代の要請する新しい考え方が必要です。池田さんがどんな土性骨をみせるか会談が注目されます。

カメラ風土記

一、丸の内界限

東京丸の内、この界限は日本の代表的なオフィス街があり、又一丁ロンドンという特異なストリートを見ることが出来ます。しかし、今から七〇年前。ここは三菱が原と呼ばれる草っ原。当時の三菱財閥は英国式建築を取り入れて今日のビジネス、セクターの前身ともいえるロンドン街を築いたのです。

そして時代は明治から大正に移り東京駅開設に続く丸ビル完成は一大オフィス街としてクローズアップされたのです。

しかし、再度にわたる世界大戦は近代資本主義へと発展をむたらし、これらのビル街では需要に耐えられず、日本資本主義を支えたこのロンドン街も今日では新しい近代的ビルディングに生れ代るうとしています。

このロンドン街を含めた丸の内界限は平日と休日では二〇万に及ぶ人口差があり、休日のビルの谷間では映画のロケーションや日曜画家が巾をきかしています。又取りこわすビルを廃物利用して科学消防の実験も行なわれました。

我が国の経済成長と共に、近代社会の発祥の地ともいえるこの丸の内界限はやがて新しい時代と共に大きな変貌を見せようとしているのです。

一、古城と古寺の祭り

石川 京都

前田藩の城下町、金沢市を四百年の昔によみがえらせる百万石祭がこの程盛大に行なわれました。このお祭は前田利家が家康を助けた功勞により、大名の中では最高の録を受けて、ここ金沢に築城、華かに入城したことに始まるのです。

伝統を誇る加賀トビも登場するなど往時を偲ぶ時代絵巻をくりひろげたのです。

一方、響着たる樹海に覆われた京都の鞍馬寺では、六月二十日「竹伐り会式」が行なわれました。この儀式は千年前峰延上人によって、始められたと言われ、東西に分れた、丹波の国と近江の国の僧兵が竹切りを競い合うのです。

この勝敗によって、その年の米の豊凶を占うという由緒あるお寺の奇祭です。

676

117頁

232頁

307頁